

【5年】総合的な学習の時間 「中川米を育てよう」



稲を鳥から守る方法を調べました。調べた中から、かかし作りを行い、稲を干している場所に飾りました。



体育学習発表会で使った鳴子が、昔は鳥よけに使われていたことが分かり、「収穫祭」として、収穫した喜びを表現して踊りました。



どんな方法で、脱穀できるかを調べました。千歯きき、足踏み式脱穀機という道具があることや、割り箸ではさむ方法があることを知り、実際に試してみました。



1年間を通して、米づくりに取り組んだ。田植え、稲刈り、脱穀、^{もみ}粃すり、残った藁の活用など、児童が調べたことを実際に実現できるよう、メールで外部講師の方に質問をしたり、必要な道具を借りたりした。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、様々な行事が制限されていたが、その中で取り組める方法を考えていくことができた。

児童A「足踏み式脱穀機を初めて見ました。自分で調べた方法で、脱穀ができて楽しかったです。」

児童B「鳥に食べられた跡がありましたが、自分たちで、オリジナルのかかしを作れてよかったです。」

児童C「水の管理は大変でしたが、たくさんの穂がついていてうれしかったです。」

これからも子供たちが輝ける活動を、工夫して取り組んでいきたい。